

日曜ワイド

Sign Display Convention



月戸夢時有把酒問青天不知天上宮
 關今夕是何年我欲乘風歸去
 樓玉宇高處不勝寒起舞弄清輝
 在人間轉朱閣低綺戶照
 恨何事長向別時圓人
 有陰晴圓缺此事古
 千里



沖縄伝統民謡のコンテストで最優秀賞に輝いた池田さん

18歳以下 沖縄の伝統民謡コンテスト

池田さん(学芸館3年)最優秀

地元在住以外で初

18歳以下の若者が沖縄の伝統民謡の技量を競う「第5回U
 ー18島唄者コンテスト」(沖縄県文化協会主催)で、岡山学
 芸館清秀中(岡山市東区西大寺上)の3年池田陽生さん(15)
 が最優秀賞に輝いた。同県在住者以外では初となる快挙。池
 田さんは「沖縄の民謡を岡山でも広めていければ」と話して
 いる。(小川耕平)

沖縄県南西諸島に伝わる「八きた」。
 重山民謡」が趣味だった父親のコンテストに向けては、大哲会
 影響で、小学5年生から唄と三代表者で同県無形文化財保持者の
 線を習い始めた。同県に拠点を大工哲弘さん(73)「那覇市」から
 置く民謡教室「大哲会」の岡山 助言を受けたり、民謡のCDを繰
 支部での練習や、同校の琉球三り返し聞いたりして、特有の歌い
 味線部の活動などで腕を磨いて 回しを特訓。2月上旬に同県であ

岡山へ発信 懸け橋期待

審査員長も務めた大工さんは「声量、音程、方言など、どの要素もハイレベル。沖縄の民謡を岡山に発信する懸け橋になってくれれば」と期待。池田さんは、1947年から石垣島で続く最高峰の民謡大会「とうばらーま大会」(9月)の出場を目指しており、「将来は八重山民謡の歌手になりたい」と語る。
 コンテストの様子は、動画投稿サイト・YouTubeの沖縄県文化協会のチャンネルで視聴できる。



動画